

株式会社 サンウェルズ
SUNWELS

2024年3月期 決算説明資料

サンウェルズはパーキンソン病専門施設「PDハウス」をはじめとした事業展開により、医療・介護を中心とした社会課題を解決し、持続可能な社会の実現を目指します

2024年5月9日

I. 2024年3月期決算概況

II. 2025年3月期予算

III. 中期経営計画の進捗状況

IV. 会社概要



2024年3月期決算サマリー ① 予算実績比較

■ 売上高・利益共に上方修正後(9月20日開示)の予算比プラスで着地

(単位：百万円)

	2024/3期 1Q			2024/3期 2Q			2024/3期 3Q			2024/3期 4Q			2024/3期 通期		
	予算	実績	予実差異 (予算達成率)	予算	実績	予実差異 (予算達成率)	予算	実績	予実差異 (予算達成率)	予算	実績	予実差異 (予算達成率)	予算	実績	予実差異 (予算達成率)
売上高	4,625	4,625	0 (100.0%)	5,059	5,093	+33 (100.7%)	5,476	5,600	+124 (102.3%)	5,859	6,041	+181 (103.1%)	21,020	21,360	+339 (101.6%)
EBITDA [※]	792	792	0 (100.0%)	936	991	+54 (105.9%)	1,171	1,188	+16 (101.4%)	1,273	1,331	+57 (104.5%)	4,173	4,302	+128 (103.1%)
営業利益	633	633	0 (100.0%)	737	793	+56 (107.6%)	953	972	+19 (102.0%)	1,029	1,091	+61 (106.0%)	3,353	3,490	+137 (104.1%)
経常利益	543	543	0 (100.0%)	583	643	+59 (110.2%)	767	823	+56 (107.3%)	843	927	+84 (110.0%)	2,738	2,938	+199 (107.3%)
四半期(当期) 純利益	394	394	0 (100.0%)	383	463	+79 (120.8%)	503	597	+93 (118.6%)	553	577	+23 (104.3%)	1,835	2,032	+197 (110.7%)



2024年3月期決算サマリー ②前年同期比較

- 前年同期比大幅な増収増益、経常利益は2.5倍で着地
- 新規開設したPDハウス9施設(定員数 499名)の早期集客、既存施設の高稼働が寄与

(単位：百万円)

	2021/3期 実績 (売上高比)	2022/3期 実績 (売上高比)	2023/3期 実績 (売上高比)	2024/3期 実績 (売上高比)	増減率
売上高	5,404 (100.0%)	8,419 (100.0%)	13,716 (100.0%)	21,360 (100.0%)	+55.7%
EBITDA	503 (9.3%)	802 (9.5%)	1,931 (14.1%)	4,302 (20.1%)	+122.8%
営業利益	322 (6.0%)	490 (5.8%)	1,434 (10.5%)	3,490 (16.3%)	+143.4%
経常利益	316 (5.9%)	348 (4.1%)	1,140 (8.3%)	2,938 (13.8%)	+157.6%
当期純利益	241 (4.5%)	255 (3.0%)	784 (5.7%)	2,032 (9.5%)	+159.2%
PDハウス施設数	6	12	20	31	+55.0%

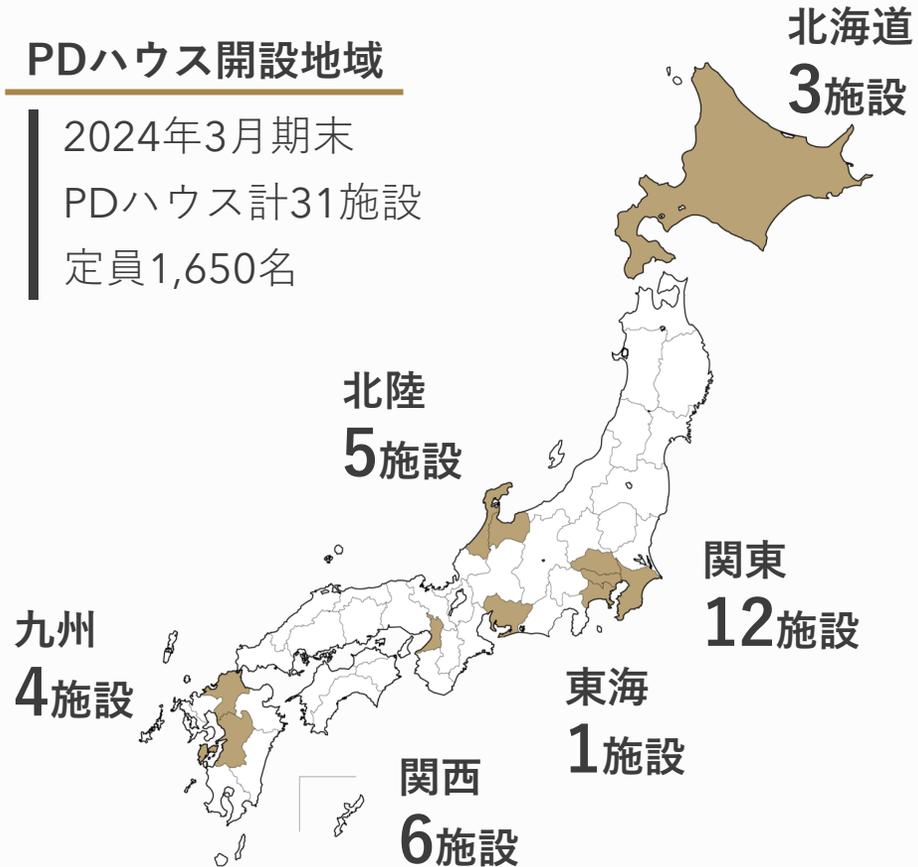


2024年3月期決算サマリー ③PDハウス開設

■ 計画通りPDハウス9施設開設、合計で31施設運営

PDハウス開設地域

2024年3月期末
PDハウス計31施設
定員1,650名



2024年3月期は関東(5)・関西(2)に加え、新たに愛知県・熊本県へ開設

No	開設時期	都道府県	名称	定員数 (名)	稼働率 24.3末
1	1Q	4月 神奈川県	港南台	60	98%
2		4月 大阪府	城東	60	93%
3		6月 東京都	板橋 II	47	94%
4	2Q	8月 東京都	八王子	50	96%
5		9月 大阪府	東大阪 II	60	77%
6	3Q	10月 東京都	用賀	68	66%
7		10月 熊本県	光の森	53	62%
8		11月 神奈川県	神大寺	48	96%
9		12月 愛知県	平和が丘	53	57%

合計 499



2024年3月期決算サマリー ④稼働率^{※1}・入居者推移

- PDハウスへの強い入居ニーズを捉えた営業活動の展開で、既存施設は高稼働維持(稼働率97%^{※2})、新規施設は早期集客(稼働率82%^{※2})を実現
- 待機者は**300名**を超える

区別	施設数	定員数 (名)	2023年3月期													通期 平均	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
既存PDハウス (開設：2022.3まで)	12	613	稼働率	92%	94%	96%	97%	96%	96%	97%	97%	97%	97%	95%	97%	96%	96%
			入居者数	562	574	588	595	588	589	595	597	595	581	592	588	587	
新規PDハウス (開設：2022.4から)	8	434	稼働率	—	38%	57%	60%	70%	65%	59%	71%	67%	69%	74%	82%	69%	
			入居者数	—	19	54	86	100	132	187	225	250	298	321	354	184	
開設施設数				—	1	1	1	—	1	2	—	1	1	—	—		
区別	施設数	定員数 (名)	2024年3月期													通期 平均	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
既存PDハウス (開設：2023.3まで)	20 ^{※3}	1,047	稼働率	91%	93%	94%	94%	95%	95%	95%	96%	96%	97%	97%	97%	95% ^{※4}	
			入居者数	947	967	986	987	992	997	993	1,005	1,001	1,017	1,014	1,017	994	
新規PDハウス (開設：2023.4から)	9	499	稼働率	42%	55%	59%	68%	65%	60%	56%	59%	62%	69%	75%	82%	65%	
			入居者数	50	66	99	114	140	167	221	265	307	342	373	407	213	
開設施設数				2	—	1	—	1	1	2	1	1	—	—	—		

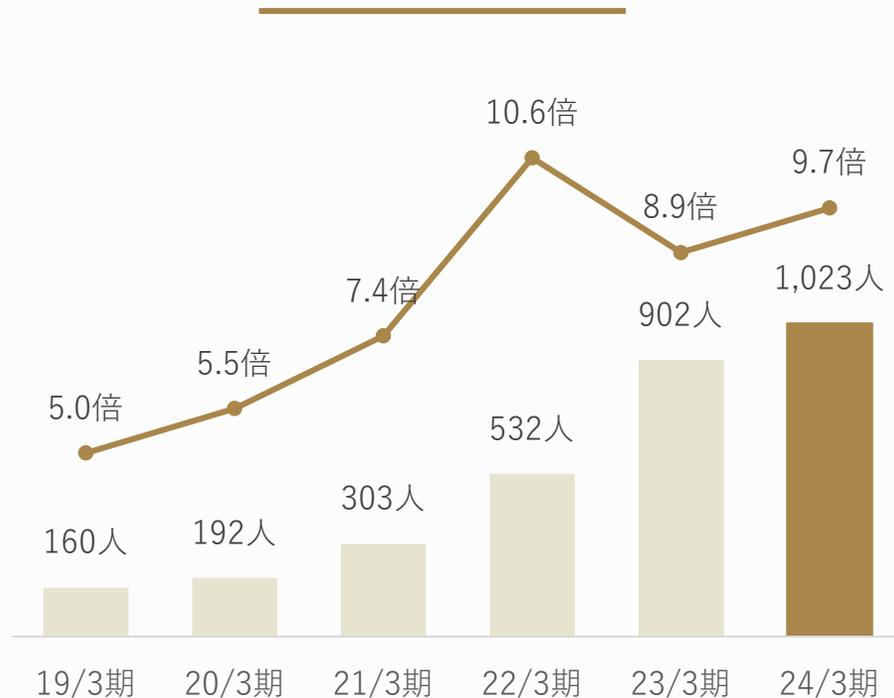
※1 稼働率 = 各施設の月末入居者数 / 各施設の定員数
 ※2 2024年3月末の稼働率
 ※3 2023年4月にPDハウス化した既存施設「PDハウス藤江」、「PDハウス戸板」は除く
 ※4 PDハウス板橋は増設工事で4-6月は既存床数が3床減



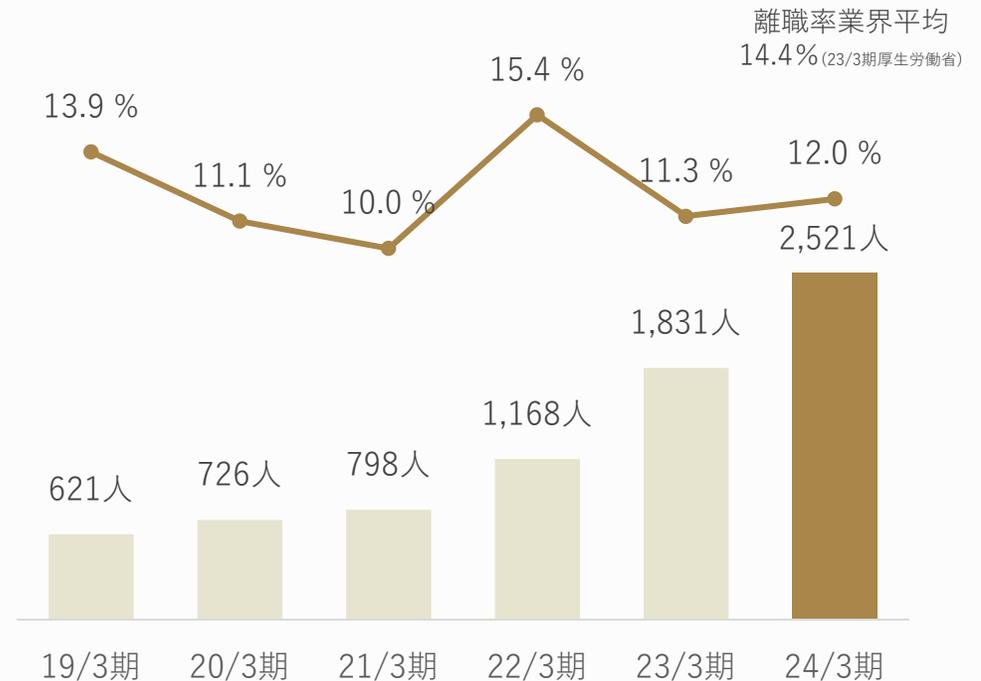
2024年3月期決算サマリー ⑤採用計画

- 介護業界トップクラスの報酬体系・休日数に加えて、リファラル採用(194名)が寄与
- 離職率は12.0%、社員研修・定着管理に注力し低離職率維持

新規採用者数/採用倍率^{※1}



期末従業員数/離職率^{※2}

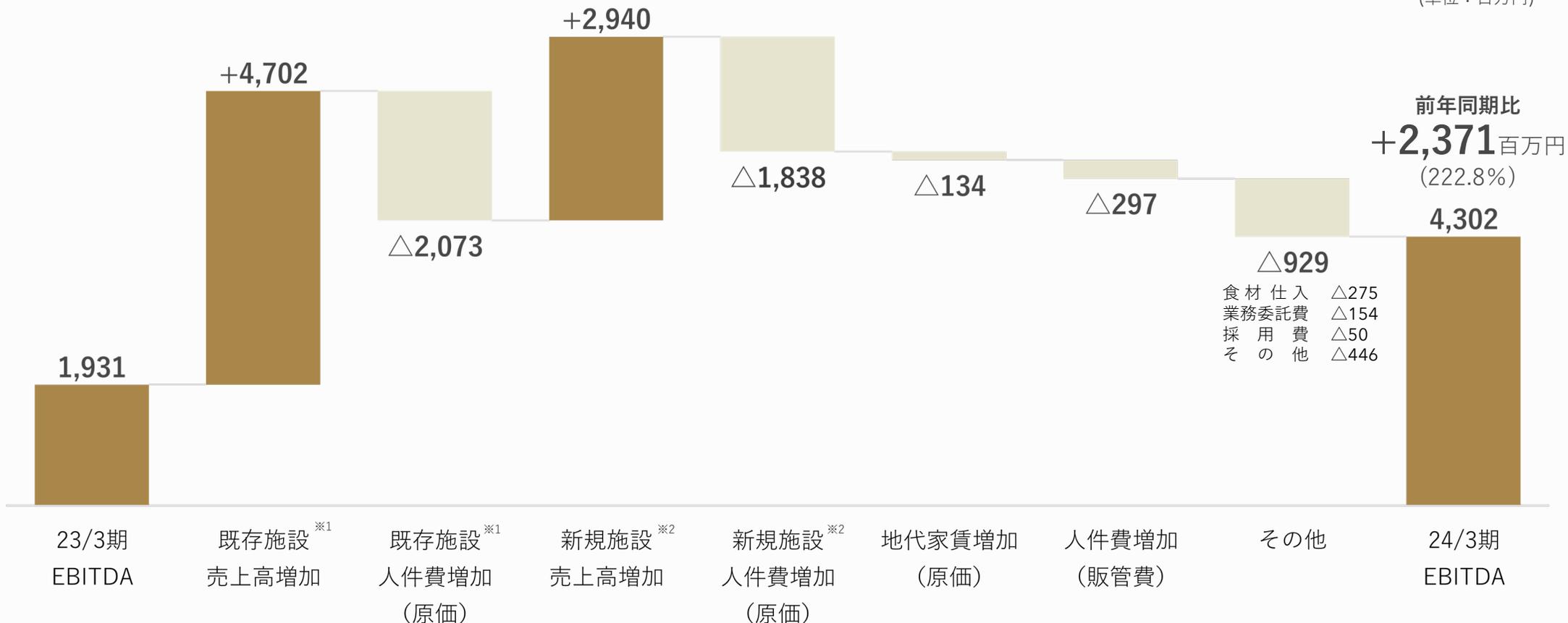




EBITDA増減要因

■ PDハウスの施設数増加・早期安定稼働に伴い、EBITDAは前年同期比2.2倍

(単位：百万円)



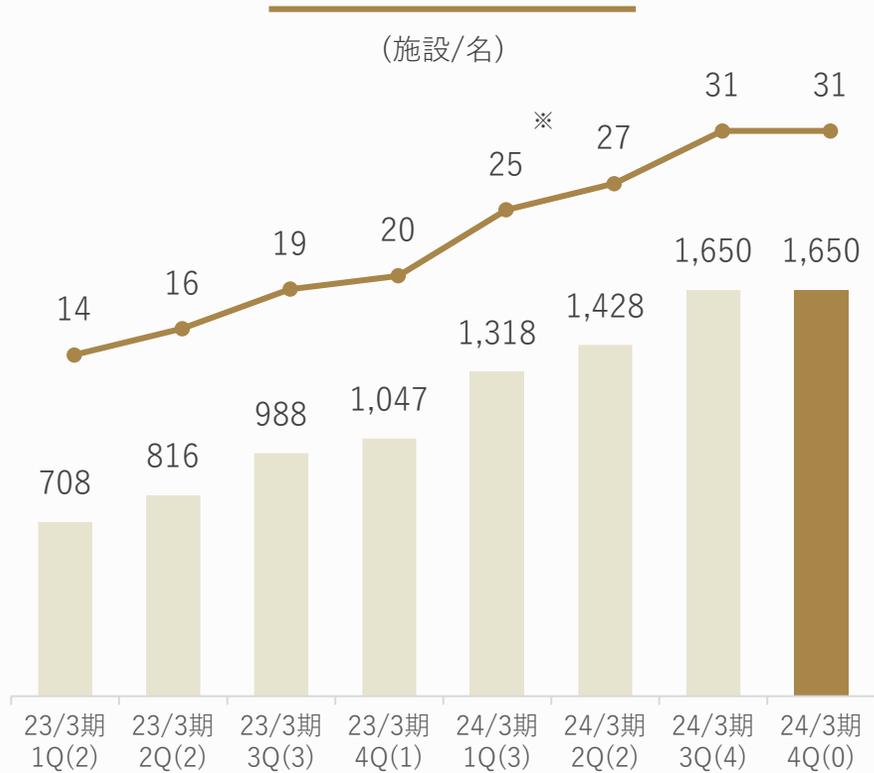


四半期業績推移

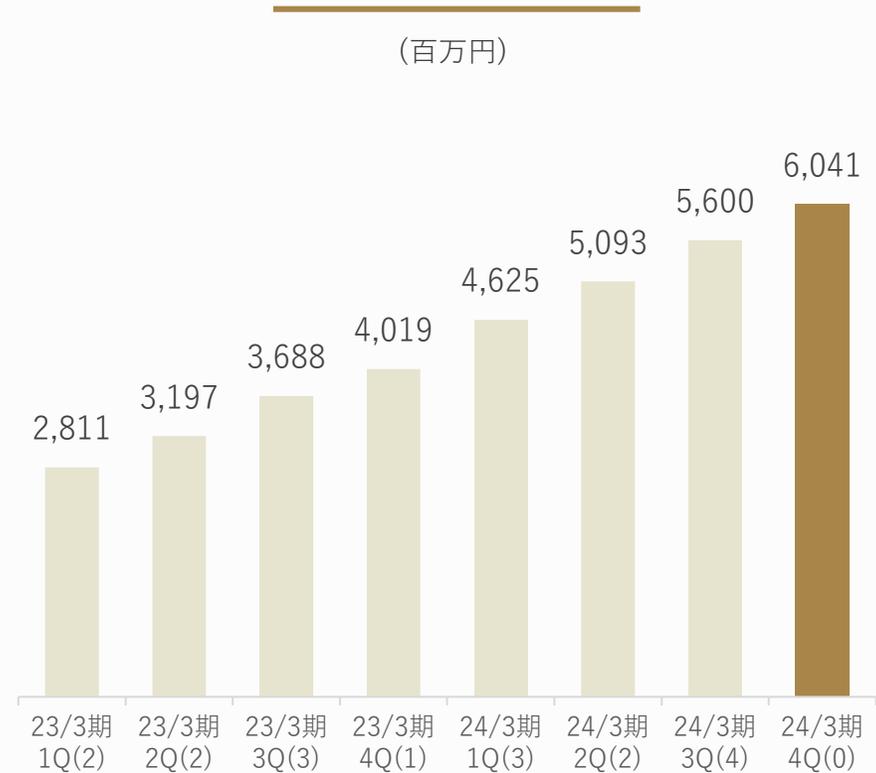
— 施設数
 () 開設施設数

■ 定員数・売上高は共に四半期毎で着実に増加

PDハウス施設数/定員数



売上高



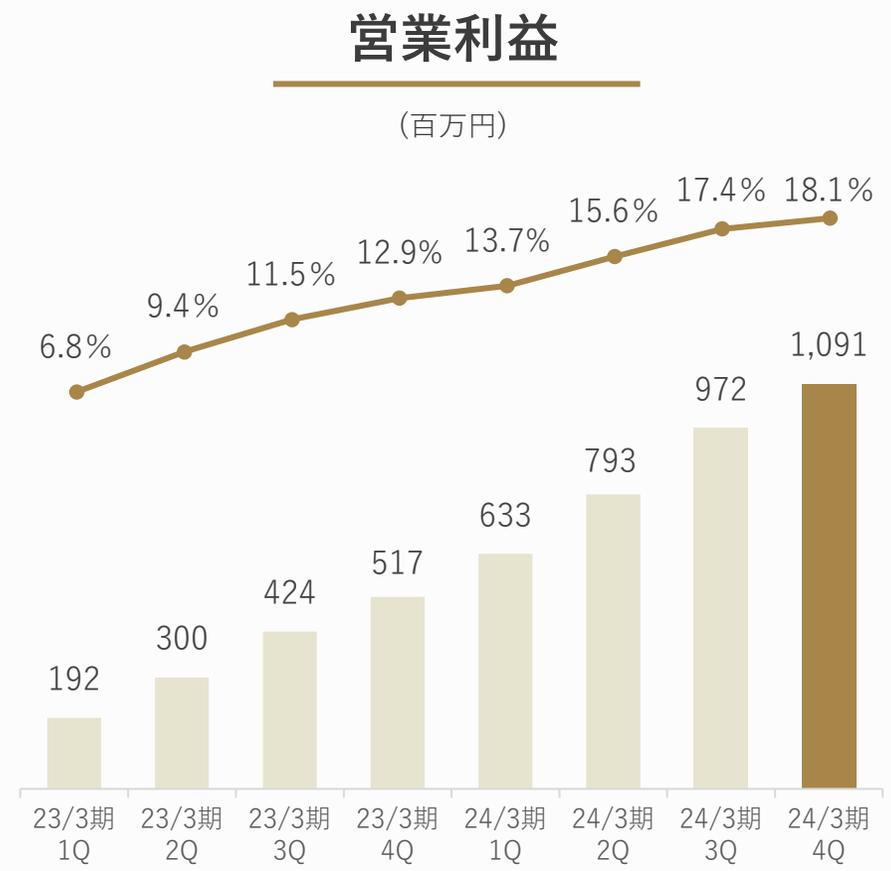
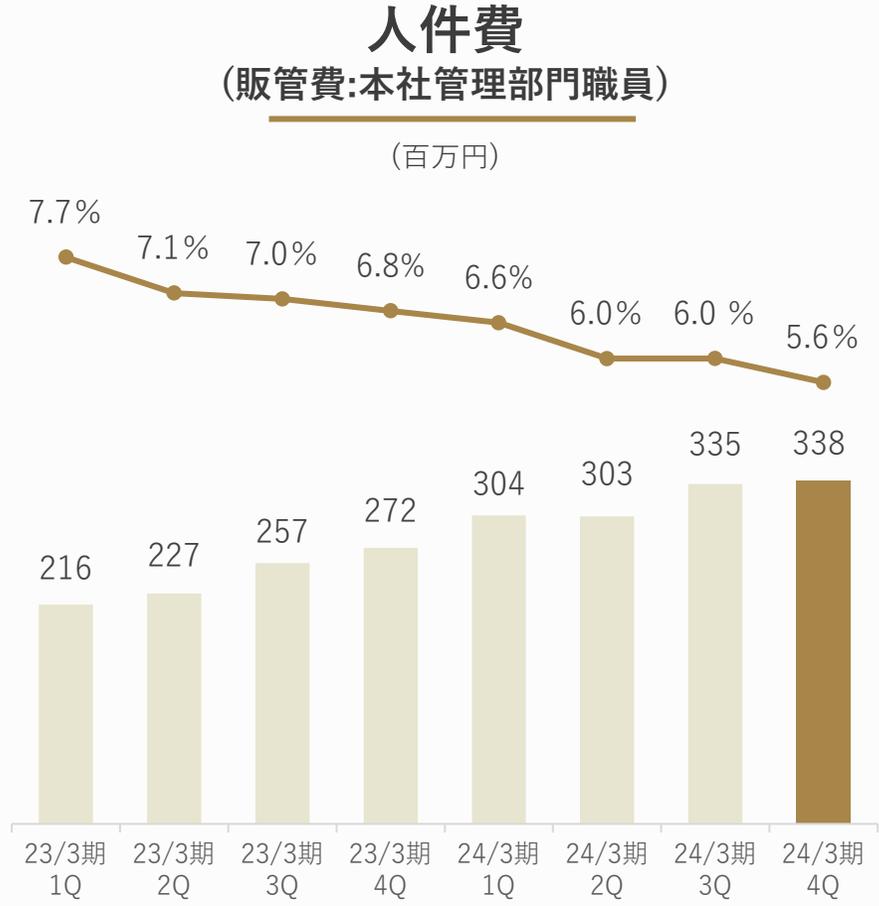
※ 2023年4月に既存施設「太陽のプリズム藤江」、「太陽のプリズム戸板」のPDハウス化に伴う施設数の増加



四半期業績推移

売上高比

■ スケールメリットにより本社管理部門人件費比率は減少⇒営業利益率の向上に寄与





貸借対照表

■ 開設施設数増加に伴い自己資本比率は5.3pt低下 (2024年3月期9施設、2025年3月期12施設開設の先行投資97億円含む)

(単位：百万円)

	22/3末	23/3末	24/3末	23/3末 増減額
資産	9,015	19,211	31,518	+12,306
流動資産	2,547	5,425	7,504	+2,078
固定資産	6,468	13,786	24,014	+10,228
負債	8,150	13,840	24,375	+10,534
流動負債	3,116	3,240	7,729	+4,489
固定負債	5,034	10,600	16,645	+6,044
リース債務	3,403	8,794	13,344	+4,549
純資産	864	5,370	7,143	+1,772
自己資本比率	9.6%	27.9%	22.6%	△5.3pt



CF計算書

- PDハウス事業好調、利益増加に伴い営業CFは +25億円
- PDハウスの開設施設数増加により、投資CFは -56億円
- 毎期の利益積み上げにより、フリーCFは2027年3月期でプラス転換を予定

(単位：百万円)

	22/3期 通期	23/3期 通期	24/3期 通期
営業CF	+378	+1,140	+2,557
投資CF	-633	-2,041	-5,662
有形固定資産の取得による支出	-452	-1,881	-5,489
フリーCF(営業CF+投資CF)	-254	-900	-3,104
財務CF	+573	+2,696	+3,801
借入金の純増減額	+749	-875	+4,279
自己株式の処分による収入	-	+3,933	+39
現金及び現金同等物の増減額	+318	+1,795	+696
現金及び現金同等物の期末残高	+814	+2,610	+3,307



株主配当(増配)

■ 2024年3月期の期末配当を6円から8円へ増配

- ・ 24年3月期の1株当たり配当金は14.00円(中間配当6.00円、期末配当8.00円)で実施いたします。

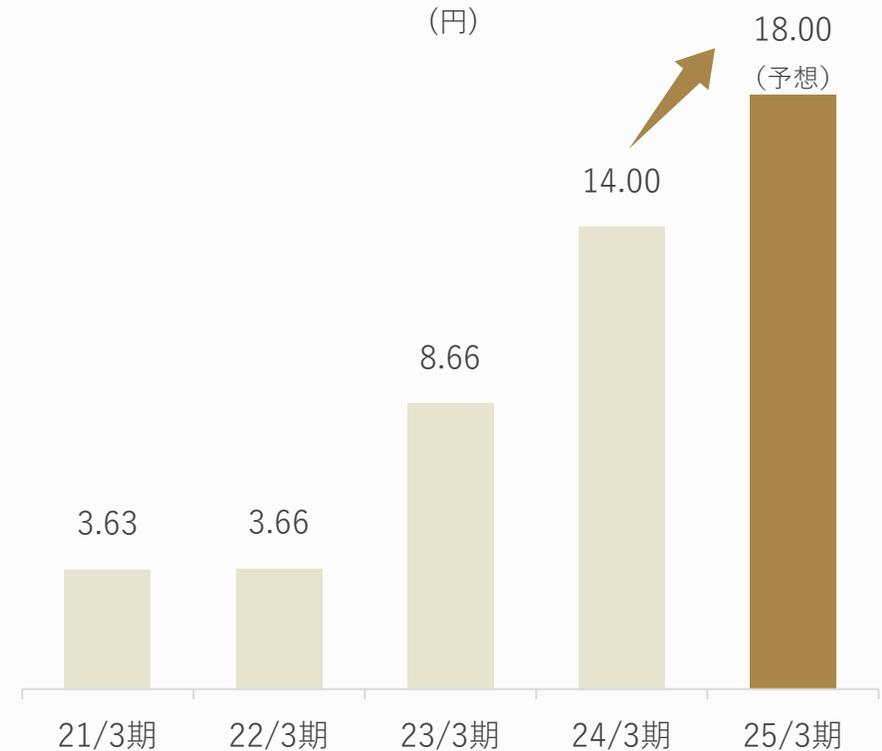
■ 2025年3月期株主配当予想(前期比4円の増配)

- ・ 25年3月期の1株当たり配当金は18.00円(中間配当9.00円、期末配当9.00円)を計画しており、4円の増配予想です。
- ・ 前期に引き続き、配当性向20%を目安に利益成長に応じた配当を実施する予定です。

■ 株主配当方針

- ・ 当社は株主に対する利益還元を重要な経営上の施策としております。
- ・ 株主配当につきましては、安定性および継続性に配慮しつつ、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施していく方針です。

1株当たり配当金[※]



※ 2021年3月25日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2022年2月15日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っているため、21/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たりの配当金の金額を記載

I . 2024年3月期決算概況

II . 2025年3月期予算

III . 中期経営計画の進捗状況

IV . 会社概要



2025年3月期予算

■ PDハウスの施設数増加により、業績は四半期毎で右肩上がり

(単位：百万円)

	2025/3期 1Q予算			2025/3期 2Q予算			2025/3期 3Q予算			2025/3期 4Q予算			2025/3期 通期業績予想	(売上高比)
売上高	6,324			6,950			7,520			8,012			28,807	(100.0%)
通期比	22.0%			24.1%			26.1%			27.8%			100.0%	
EBITDA	1,100			1,424			1,762			2,005			6,293	(21.8%)
通期比	17.5%			22.6%			28.0%			31.9%			100.0%	
営業利益	813			1,074			1,372			1,600			4,860	(16.9%)
通期比	16.8%			22.1%			28.2%			32.9%			100.0%	
経常利益	622			836			1,161			1,385			4,006	(13.9%)
通期比	15.5%			20.9%			29.0%			34.6%			100.0%	
四半期(当期)純利益	412			555			768			891			2,627	(9.1%)
通期比	15.7%			21.1%			29.3%			33.9%			100.0%	
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期	
PDハウス開設施設数	1	2	1	—	1	2	2	1	1	1	—	—	12	



2025年3月期の取り組み

■ 24年度制度改正による影響

- ・介護報酬改定：訪問介護における同一建物減算の見直し(49床以下10%→12%)／訪問介護基本報酬減算(改定率△2.4%)
 - ・診療報酬改定：訪問看護管理療養費引き下げ(2日目以降、3,000円→2,500円/日)
- 一部マイナスの影響があるものの、新たな加算取得等の対応で**影響は軽微**

■ PDハウスの新規開設ペースを加速

- ・2025年3月期は12施設の開設(前期比3施設増)を計画、300名を超えるPDハウス待機者へ早期アプローチ
- ・26年3月期15施設、27年3月期18施設を計画、待機者情報を鑑みて開設ペースの加速を検討

■ 施設数拡大を見据えた運営体制の整備

- ・ナースステーション、ヘルパーステーションの統合集約、主管ステーション設置による管理体制強化
- ・2025年3月期新規開設12施設のリーダー層(施設長、主任)36名は既に充足

■ 在宅療養者向け訪問看護の開始

- ・PDハウスの入居者だけでなく、在宅療養者にも訪問看護サービスを開始
- ・潜在的なPDハウス入居希望者の取り込みを図る

■ 大学病院・研究機関との連携強化

- ・新たにフロリダ大学病院との共同研究(リハビリプログラムの研究)を開始、共同研究費12百万円を拠出
- ・順天堂大学と2講座目の共同研究(PD長期観察共同研究講座)を開始、共同研究費30百万円を拠出
- ・関西医科大学 高橋牧郎教授の監修によるPDライセンス制度(社内資格制度)を開始 ※詳細次頁



PDライセンス 制度内容と運用ルール

パーキンソン病のスペシャリスト集団の育成を目的に、PDライセンス制度を導入

※社内用広報物

PD LICENSE

目指せPDスペシャリスト! PDライセンス制度スタート!

制度の導入にあたって

パーキンソン病専門施設であるPDハウスでは、ご入居者さまに安心して生活していただくこと、同時に職員のみならずにもパーキンソン病のプロとして自信を持ってサービスを提供していただきたい!そんな想いから、パーキンソン病のスペシャリスト集団の育成を目標に、「PDライセンス制度」を導入する運びとなりました。

手当てについて
3級:なし 2級:3,000円 1級:10,000円
※手当てはPDハウスの職員(介護・看護・リハビリ)のみ対象となります

試験実施月
毎月実施(3級)
●1級・2級は運用ルール参照

受験対象
全従業員
●PDハウス職員(介護・看護・リハビリ)は3級の取得必須

施設長・主任の方へ
全職員がテストに参加できるようにシフト調整をお願いいたします。テストの合否はPDライセンス管理表で管理してください。

監修
坪井義夫 教授 元福岡大学 教授
高橋 牧郎 教授 関西医科大学 教授

CHECK! PDライセンス3級 学習素材はこちらから

テキスト WORKS 動画 WORKS Youtube

個人用携帯で閲覧・視聴する際は、パスワードを入力ください。ワンクワルズ研修ポータルサイトからも資料のダウンロードが可能です。

より上を目指したいあなたは... PDライセンスではさらに上の級を目指すことも可能!1級・2級取得者には手当が月額給与に加算されます。知識と収入を同時に増やせるこの制度をぜひご利用ください!

PDライセンス 運用ルール

等級	1級	2級	3級
到達スキル	パーキンソン病の病態とケアに必要な他職種役割を理解している (病態)症状を引き起こすメカニズム	パーキンソン病の症状とケアに必要な自職種役割を理解している	PDハウスでよく見る症状・リスクを理解している
受験資格	2級取得者 ※任意	3級取得者 ※任意	全従業員 ※PDハウスの介護士・看護士・リハビリ職員は取得必須
名札			
手当	〈正社員〉10,000円/月 〈パート〉61円/時間 ※パートの手当計算式はQ&A記載 ※手当はPDハウス職員(介護・看護・リハビリ)のみ対象となります。	〈正社員〉3,000円/月 〈パート〉18円/時間 ※パートの手当計算式はQ&A記載 ※手当はPDハウス職員(介護・看護・リハビリ)のみ対象となります。	—
試験頻度	年1回(8月) 合格発表は9月	年1回(2月) 合格発表は3月	毎月
認定期間	1年 更新月に試験を受ける	1年 更新月に試験を受ける	—
更新方法	更新試験(8月) (合格)更新 (不合格・未受験)2級	更新試験(2月) (合格)更新 (不合格・未受験)3級	—

Q&A

Q1 PDハウス以外の職員も受験できますか?
A 受験可能です。ただし、PDハウス職員(介護・看護・リハビリ)以外については、手当の対象外となります(ランクに応じた名札は配布されます)。

Q2 試験は「勤務扱い」になりますか?
A 3級は勤務扱いです。ただし、取得必須のPDハウス介護・看護・リハビリ職員のみ。1級、2級は勤務扱いとなりません。

Q3 3級試験は月に何度も受験できますか?
A できません。試験はひとり月一回です。

Q4 パート手当の計算式を教えてください。
A 1級の場合 10,000円÷163(正社員勤務時間)=61円(1時間)
(例)毎月80時間勤務の手当額=61円×80(時間)=4,880円
2級の場合 3,000円÷163(正社員勤務時間)=18円(1時間)
(例)毎月80時間勤務の手当額=18円×80(時間)=1,440円

Q5 試験に実技はありますか?
A ありません。選択式と記述式の問題のみとなります。

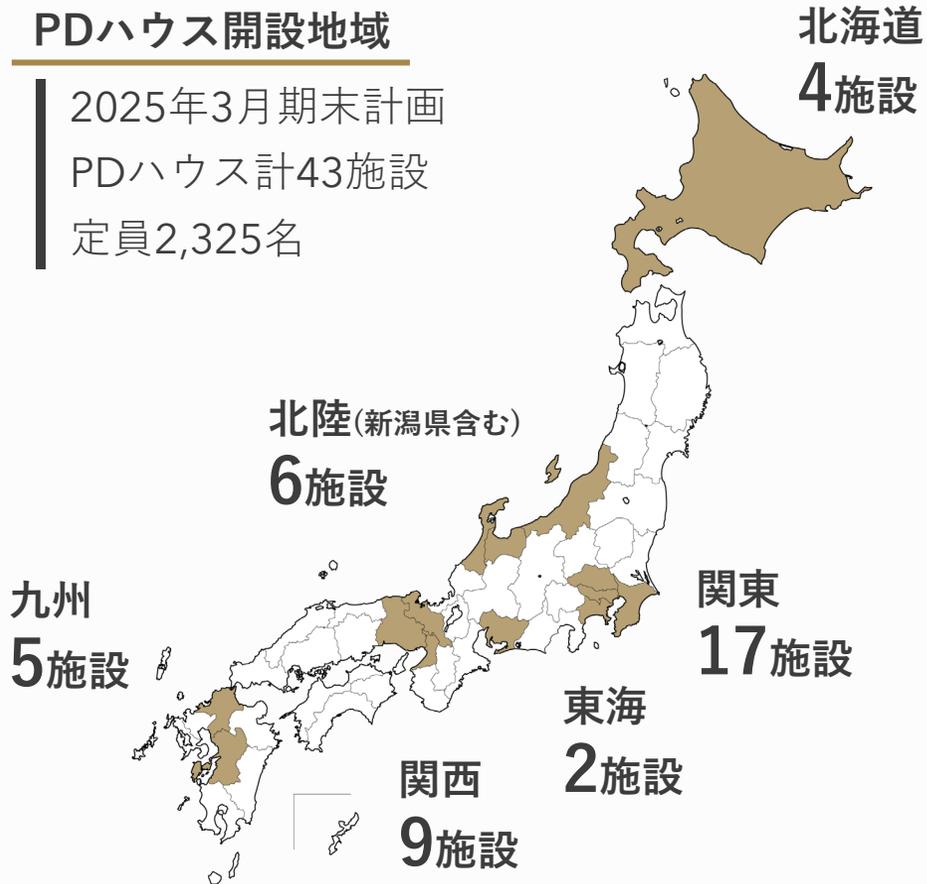


2025年3月期開設計画

2025年3月期は12施設のPDハウスを開設予定(定員数 合計675名増加)

PDハウス開設地域

2025年3月期末計画
PDハウス計43施設
定員2,325名



2025年3月期は関東(5)・関西(3)でドミナント展開 新たに京都府・兵庫県・新潟県へ開設

No	開設予定時期	都道府県	名称	形態 [※]	定員数(名)
1	1Q	4月 東京都	国立	建貸	50
2		5月 北海道	太平	自社建築(借地)	60
3		5月 福岡県	陣原	自社建築(借地)	60
4	2Q	6月 埼玉県	東大宮	建貸	60
5		8月 千葉県	八千代中央	自社建築(借地)	60
6		9月 千葉県	南柏	自社建築(借地)	60
7	3Q	9月 愛知県	熱田	自社建築(借地)	50
8		10月 新潟県	新潟紫竹山	自社建築(借地)	54
9		10月 京都府	西京極	自社建築(借地)	55
10		11月 兵庫県	神戸深江本町	建貸	49
11	4Q	12月 大阪府	初芝	自社建築(借地)	52
12		2025年 4Q	1月 埼玉県	越谷	建貸

合計 675

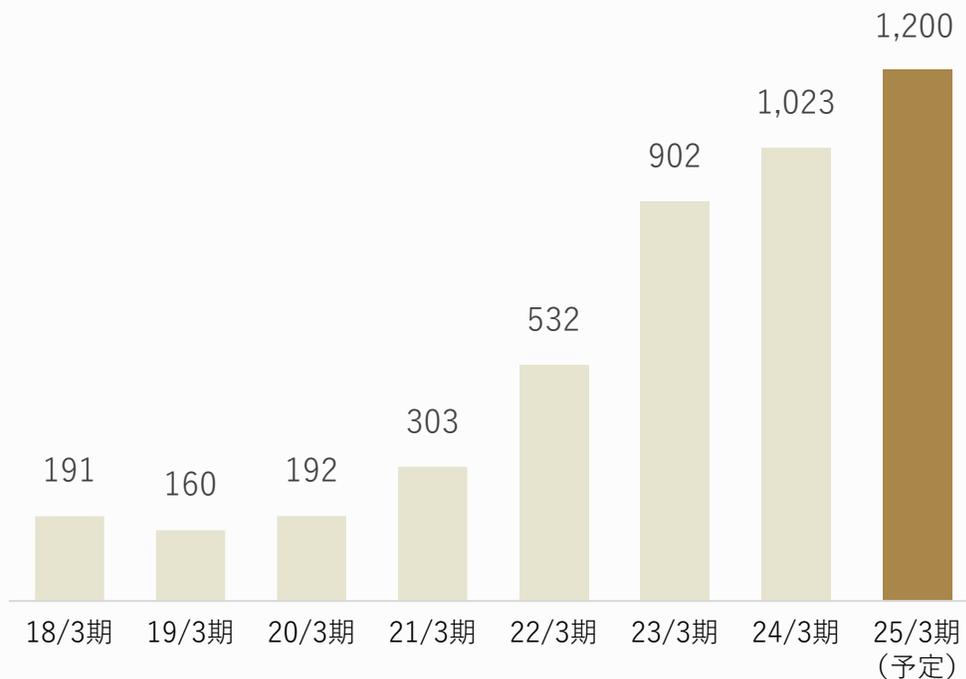


2025年3月期採用計画

■ 施設開設数の増加に伴い、2025年3月期の新規採用者数目標は1,200名へ

新規採用者数

(名)



期末従業員数

(名)

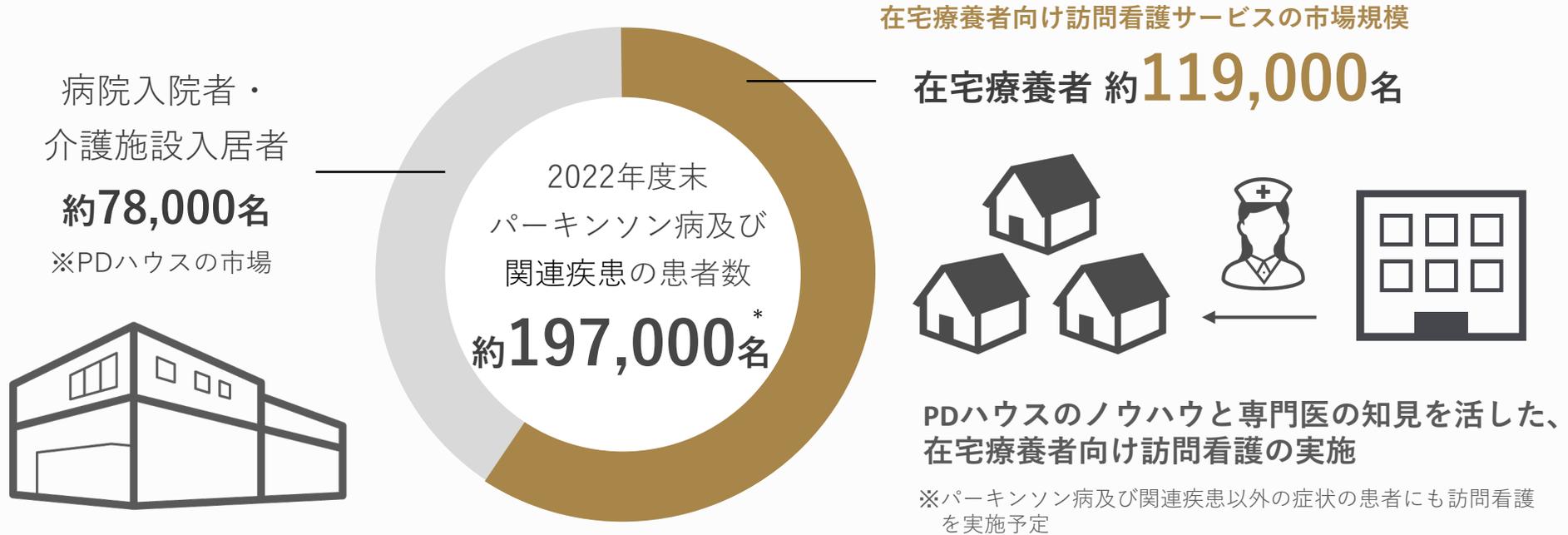




在宅療養者向け訪問看護の開始

■ 在宅訪問看護事業による新たな収益基盤の構築

施設入居者だけでなく在宅療養者にもサービスを開始

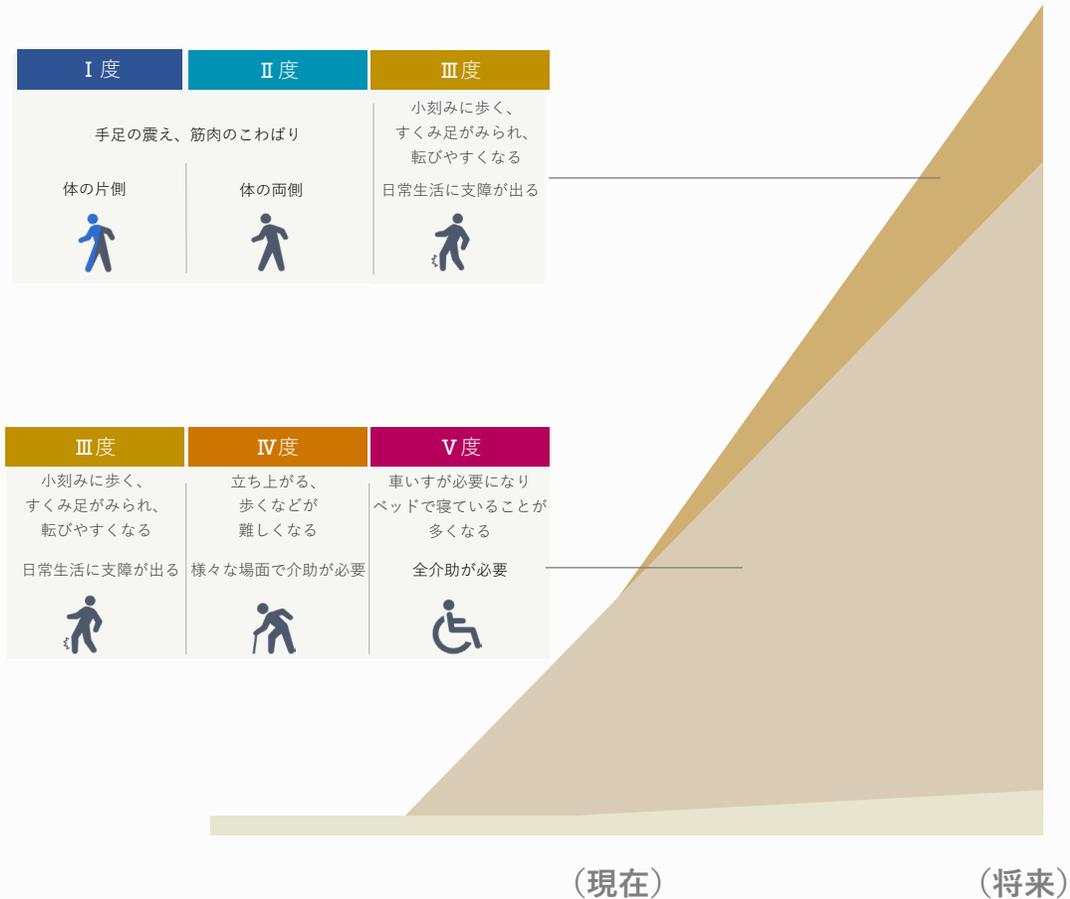


* パーキンソン病及び関連疾患の患者数：厚生労働省「2022年度衛生行政報告例」
パーキンソン病(ホーエン・ヤール3~5)の患者数約143,000名、
関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症)の患者数約54,000名



成長イメージ

■ PDハウスの開設加速に加え、在宅療養者向け訪問看護事業の開始



在宅療養者向け訪問看護事業

- ・施設(PDハウス)に入居するパーキンソン病患者だけでなく、在宅療養者に向けたサービスを開始
- ・PDハウスで培ったノウハウを幅広い在宅療養者向けに展開

PDハウス

- ・経営戦略の中心に位置づけ、競合他社に追随を許さないパーキンソン病専門施設として、提供サービスの質を向上
- ・300名を超える待機者への早期アプローチを目的として、開設計画を加速
- ・在宅療養者向け訪問看護を開始することで**潜在的な施設入居希望者を把握**

介護サービス

北陸地区のデイサービス、医療特化型住宅事業は従来からの施設運営を維持

I. 2024年3月期決算概況

II. 2025年3月期予算

III. 中期経営計画の進捗状況

IV. 会社概要



中期経営計画 2025年3月期～2027年3月期

■ 新たに計画した2027年3月期は、売上高500億円超、営業利益100億円超へ

(単位：百万円)

	2023/3期 実績		2024/3期 実績		2025/3期 予算		2026/3期 予算		2027/3期 予算	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	13,716	100.0%	21,360	100.0%	28,807	100.0%	38,182	100.0%	50,721	100.0%
販売費及び一般管理費	2,311	16.9%	2,931	13.7%	3,963	13.8%	4,761	12.5%	5,500	10.8%
EBITDA	1,931	14.1%	4,302	20.1%	6,293	21.8%	9,273	24.3%	12,886	25.4%
営業利益	1,434	10.5%	3,490	16.3%	4,860	16.9%	7,374	19.3%	10,306	20.3%
経常利益	1,140	8.3%	2,938	13.8%	4,006	13.9%	6,216	16.3%	8,464	16.7%
当期純利益	784	5.7%	2,032	9.5%	2,627	9.1%	4,082	10.7%	5,558	11.0%
PDハウス施設数 (新規開設施設数)	20施設 (8)		31施設 ※ (9)		43施設 (12)		58施設 (15)		76施設 (18)	
PDハウス定員数	1,047名		1,650名		2,325名		3,150名		4,140名	

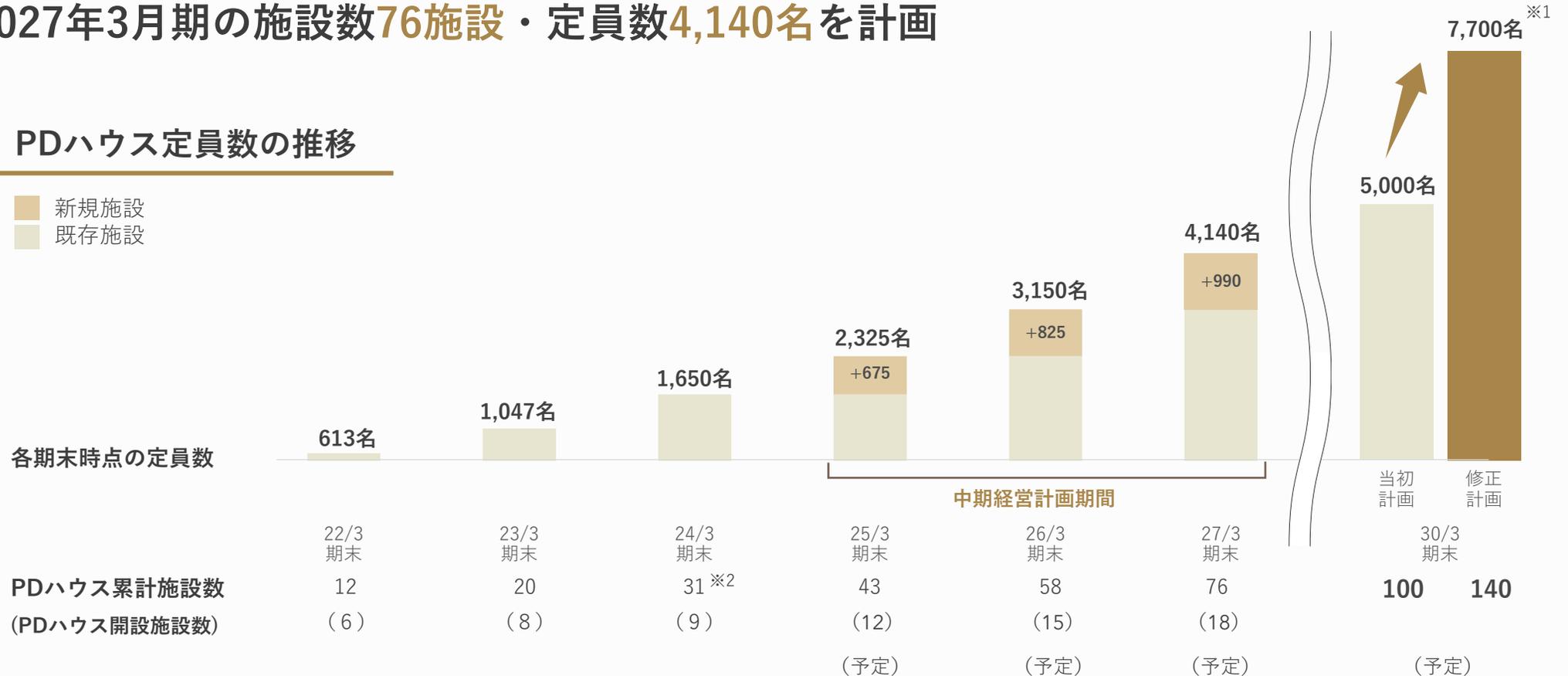


中期経営計画 PDハウス開設計画

- 順調なPDハウスの開設により、2030年3月期の目標を100施設から**140施設**に上方修正(2023年9月公表)
- 2027年3月期の施設数**76施設**・定員数**4,140名**を計画

PDハウス定員数の推移

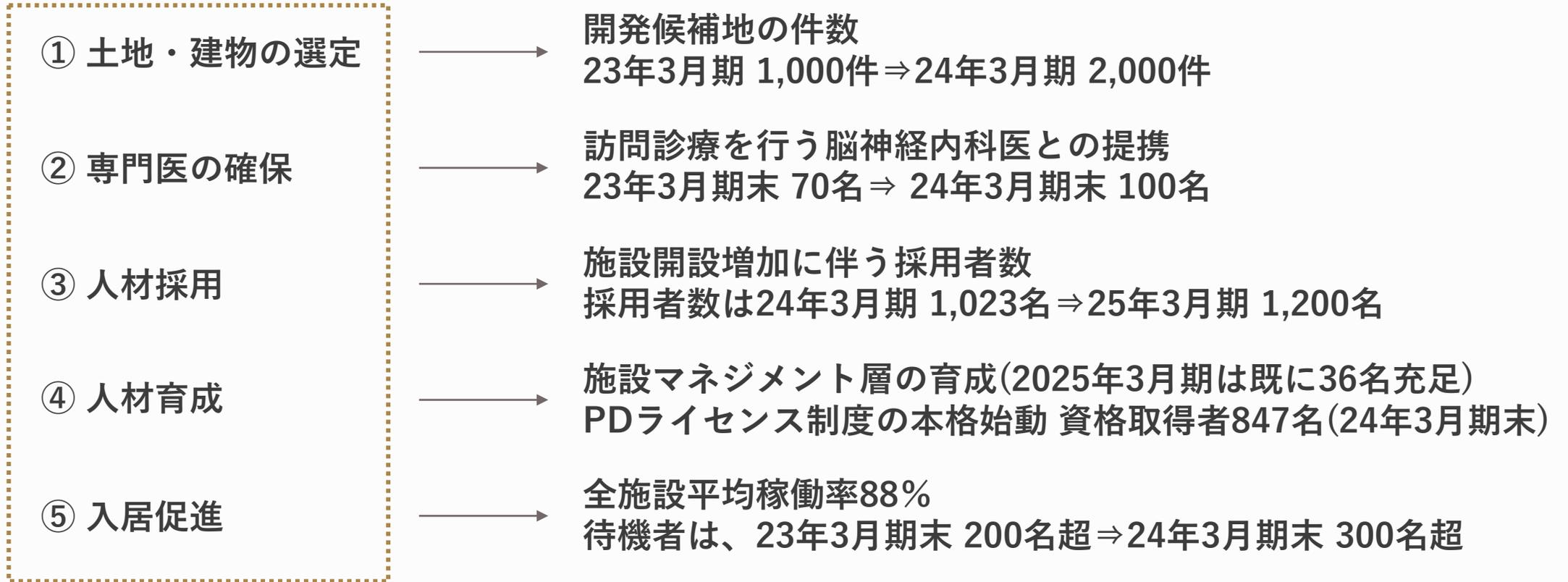
■ 新規施設
■ 既存施設





中期経営計画 成長戦略

■ 2030年3月期に施設数140施設・定員数7,700名の展開を確実にする成長戦略



I. 2024年3月期決算概況

II. 2025年3月期予算

III. 中期経営計画の進捗状況

IV. 会社概要



株式会社 サンウェルズ
SUNWELLS

MANAGEMENT PHILOSOPHY

経営理念

自らが輝き人を元気にする

私たちサンウェルズは、パーキンソン病専門施設「PDハウス」の運営をはじめとした事業展開により、医療・介護を取り巻く社会問題、社会課題の多面的な解決に挑戦します。

一つ.

福祉の職場をもっと魅力的に！

私たちサンウェルズは夢と誇りを持って志事に取り組み、皆があこがれる業界づくりにチャレンジします。

二つ.

介護サービスに進化と変化を！

私たちサンウェルズは介護の常識にとらわれることなく、利用者様の立場に立ったより良いサービスづくりにチャレンジします。

三つ.

未来を作る「人」を育成する！

私たちサンウェルズは仕事を通じてクリエイティブに発想し、自ら行動する「輝く大人」づくりにチャレンジします。

ミッション

MISSION



会社概要

社名	株式会社サンウェルズ 【英文名】 SUNWELS Co., Ltd.
本社	■ 東京本社 (東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸の内ビルディング9階) ■ 金沢本社 (石川県金沢市二宮町15番13号)
支社	■ 大阪支社 (大阪府大阪市北区堂島1丁目1番5号 関電不動産梅田新道ビル10階) ■ 福岡支社 (福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目27-24 博多タナカビル5階)
代表者	代表取締役社長 苗代 亮達
設立	2006年9月
資本金	35,000千円 (2024年3月期)
従業員数	2,435名 (外、臨時雇用86名 / 2024年3月31日現在) ※
事業内容	介護事業など (医療特化型住宅、デイサービス、グループホーム、福祉用具貸与等) ■ パーキンソン病専門介護施設「PDハウス」運営



会社概要 経営体制



代表取締役社長 苗代 亮達（なわしろ りょうたつ）

1973年7月石川県生まれ。大学在学中に腎臓病を患い中退を余儀なくされる。以降19歳から25歳までの間、闘病生活の為に定職に付けない日々を過ごす。病状から回復した26歳の時に自身の闘病生活から病気の方に役立つサービスを作りたいと思い、父の会社である(有)アイテムを引き継ぎ、介護保険対象者向けの住宅改修事業を開始する。以降2006年(株)ケア・コミュニケーションズ、2007年(株)セントラルケアスタッフ、2008年(株)サライを創業し、2011年3社合併し(株)サンウェルズを設立し、地域にない新しい介護サービスを次々に展開し現在に至る。

専務取締役 越野 亨（こしの とおる）

元地方競馬会所属騎手。2004年に株式会社アイテム（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。西日本運営部、東日本運営部を管掌。

常務取締役 長山 知広（ながやま ともひろ）

作業療法士の資格を持つ。2009年に株式会社ケア・コミュニケーションズ（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。経営戦略部、不動産開発部、建築施工部、在宅訪問看護部、営業部、サービス開発部、採用部を管掌。

常務取締役 上野 英一（うえの えいいち）

北陸銀行入行後、支店長、常任監査役を歴任。2009年にEIZO株式会社の常勤監査役に就任後、2016年に社外取締役就任。2018年に当社取締役に就任。総務部、経理部、人事部、教育部、リスク管理部を管掌。

社外取締役常勤監査等委員 山本 英博（やまもと ひでひろ）

元 北國銀行 取締役監査等委員

社外取締役監査等委員 畠 善昭（はたけ よしあき）

税理士法人畠経営グループ 会長

社外取締役監査等委員 中西 祐一（なかにし ゆういち）

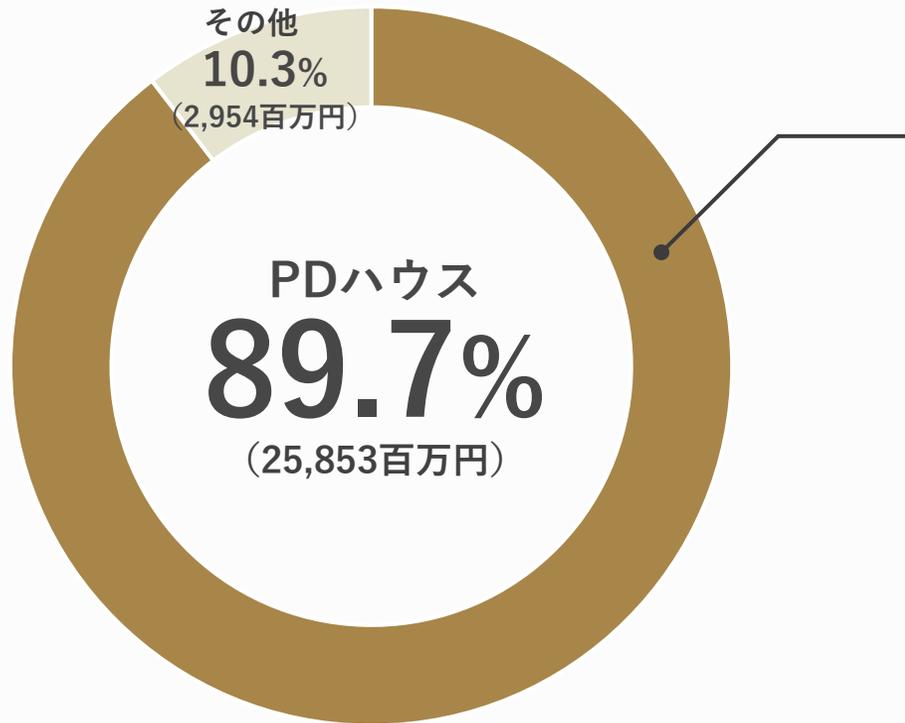
中西祐一法律事務所 弁護士

社外取締役監査等委員 中島 恵子（なかじま けいこ）

中島恵子税理士事務所 税理士



■ PDハウスの売上シェアは約9割



PDハウス

パーキンソン病専門施設

成長ドライバーとして全国展開加速中
今後は集中的にPDハウスを新設予定

その他事業

医療特化型住宅 / 福祉用具事業 / デイサービス
グループホーム / 加圧トレーニング事業

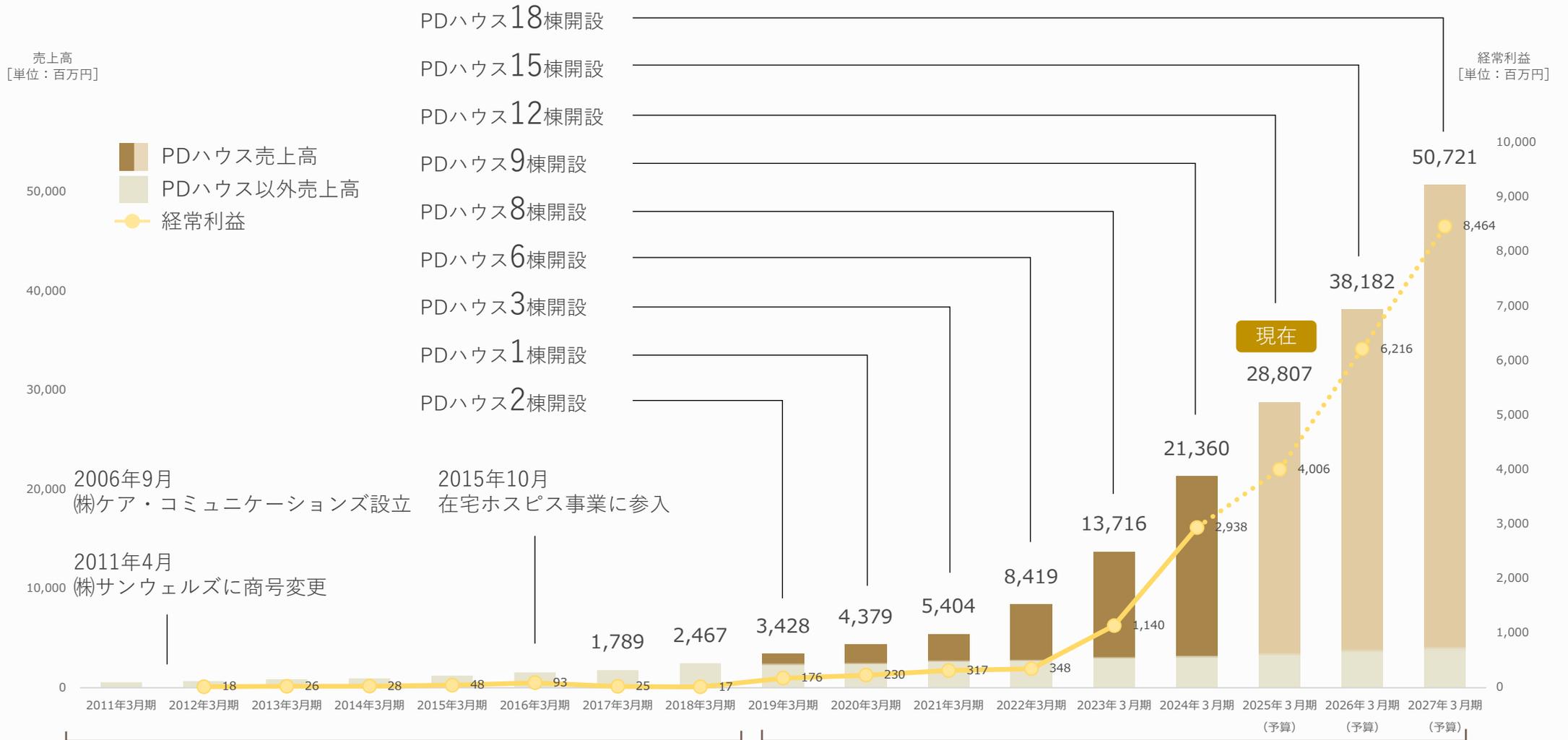
安定した経営基盤として北陸エリアで展開

2025年3月期 /
予算売上28,807百万円



会社概要 沿革

2019年3月期PDハウス初開設、以降全国への開設を加速

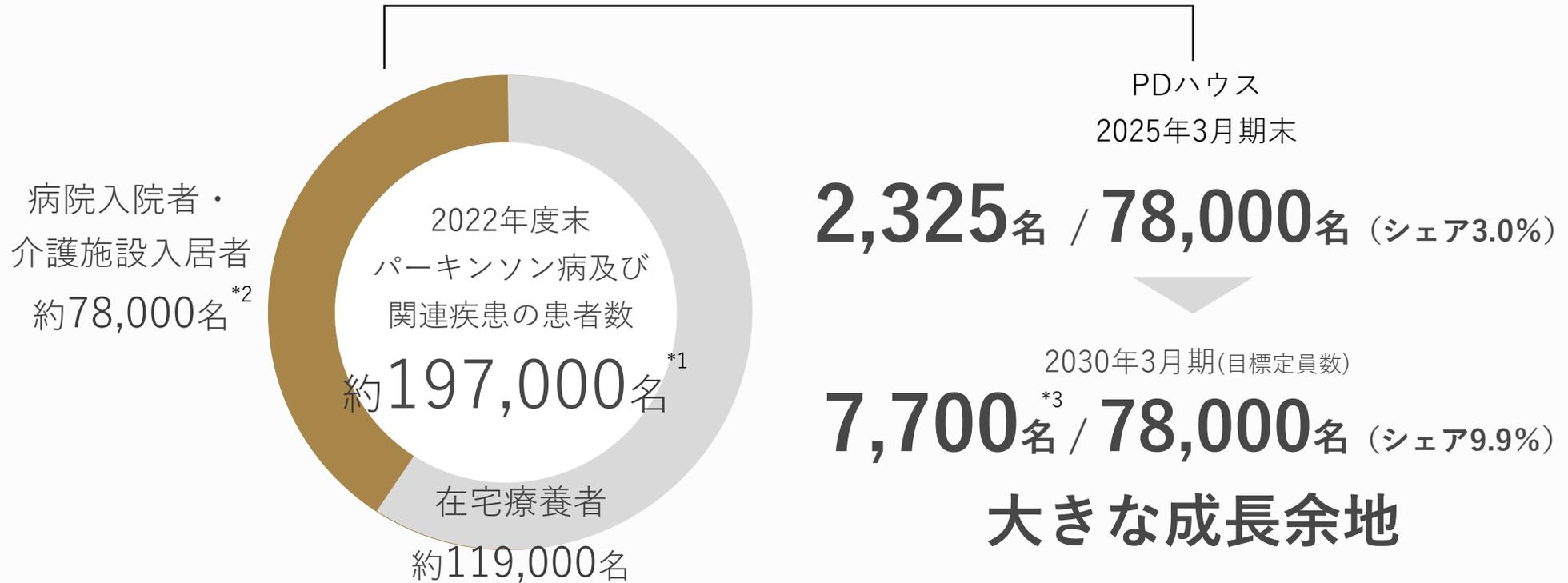




PDハウス入居対象者(パーキンソン病及び関連疾患)の市場規模

■ PDハウスの新規開設によりパーキンソン病患者へ一日でも早く専門性の高いケアの提供を目指す

PDハウスの市場規模と定員数の比較



*1 パーキンソン病及び関連疾患の患者数：厚生労働省「2022年度衛生行政報告例」パーキンソン病（ホーエン・ヤール3～5）の患者数約143,000名、関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症）の患者数約54,000名

*2 病院入院者・介護施設入居者数：厚生労働省「介護保険事業状況報告」の割合より、要介護度2～5の介護施設入居者累計数から試算(2023年3月現在)

*3 施設の大型化に伴い、2030年3月期は1施設55床として140施設で7,700床を計画



会社概要 事業内容

■ PDハウス (全国で31施設運営 ※2024年3月末時点)

・パーキンソン病の方を対象とした専門施設「PDハウス」を主軸に運営

[入居対象者]

パーキンソン病

- ・ 進行性核上性麻痺
- ・ 大脳皮質基底核変性症
- ・ 多系統萎縮症
- ・ 脊髄小脳変性症



■ 医療特化型住宅 (石川県・富山県で5施設運営)

- ・ 食事の提供その他の日常生活上必要なサービスを供与することを目的とする施設。
- ・ それぞれの事業所に訪問介護事業所と訪問看護事業所がある。
- ・ 基本的に生活の場の提供となり、同建物内の上記ステーションよりサービスを提供。

■ 福祉用具事業

- ・ 福祉用具の貸与 (介護保険・自費) および販売。
- ・ 住宅改修工事 (バリアフリー工事) 事業。

■ デイサービス (石川県内で6施設運営)

- ・ 施設に通っていただきながら生活指導・機能訓練・食事・入浴・健康チェックなどさまざまなサービスを日帰りで提供。

■ グループホーム (石川県内で2施設運営)

- ・ 9名×2ユニットの18名の定員を受け入れ。認知症を持たれている方が共同生活を行う施設。

■ 加圧トレーニング事業 (石川県内で2施設運営)

- ・ 加圧器具を使用したパーソナルトレーニングを行う。

PDハウス
3つの特徴

- 1 パーキンソン病に特化したリハビリプログラム (専門医監修)
- 2 神経内科専門の医師による訪問診療
- 3 24時間体制の訪問看護・服薬管理



会社概要 パーキンソン病

脳内のドーパミン神経細胞の変性を主体とする進行性変性疾患で、国の指定難病である。症状は多岐に渡り、世界的にも根治する治療法は確立されていない。病状進行度を表すものとして、以下の表がある。

ホーエン・ヤール重症度*の変化 (*パーキンソン病の進行度を示す指標)

I 度		II 度	III 度	IV 度	V 度
手足の震え 筋肉のこわばり			小刻みに歩く、 すくみ足がみられ、 転びやすくなる 日常生活に支障が出る	立ち上がる、 歩くなどが 難しくなる 様々な場面で介助が必要	車いすが必要になり ベッドで寝ていることが 多くなる 全介助が必要
体の片側	体の両側				

介護サービスが中心

PDハウス入居対象者 = 介護保険 + 医療保険サービスが利用可能

治療における
3つの課題

- 1 / 通いリハビリにも限度があり、入院以外は**毎日リハビリを受けられる場所がない**
- 2 / 病院に通うことに支障が出始め、**専門医による診察が受けられなくなる**
- 3 / 薬の量や頻度の増加に伴い**適切な服薬管理が難しくなる**



難病でも自分らしく生活できる施設「PDハウス」の全国展開

パーキンソン病専門施設で、3つの課題を解決するサービスを提供

パーキンソン病治療 3つの課題

- 1 / 毎日リハビリを受けられる場所がない
- 2 / 専門医による診療が受けられなくなる
- 3 / 適切な服薬管理が難しくなる



PDハウス3つの サービスで解決

- 1 / パーキンソン病に特化したリハビリプログラム (専門医監修)
- 2 / 神経内科専門の医師による訪問診療
- 3 / 24時間体制の訪問看護・服薬管理



会社概要

1 / パーキンソン病に特化したリハビリプログラム「専門医監修」

■ 神経内科の専門医師監修によるリハビリプログラムを状態に応じ提供し評価

施設内での生活スケジュール例

6:30	起床
7:30	朝食
9:30	■ 個別リハビリ (30分)
10:00	趣味時間
11:00	■ 集団リハビリ (30分)
11:30	■ 口腔嚥下体操 (30分)
12:00	昼食
13:00	レクリエーション
14:00	■ 集団リハビリ (30分)
15:00	入浴
16:00	■ 集団リハビリ (30分)
17:30	夕食
20:00	就寝

1日最大150分のリハビリ提供が可能

■ 個別リハビリ

- ・ ガイドラインをベースに、状態に合う最適なプログラムを提供
- ・ 5つの評価項目に沿って状態管理

- ① UPDRS-PartIII (病状の進行度の評価)
- ② PDQ-39 (生活の質の向上度の評価)
- ③ BI (日常生活動作の評価)
- ④ MMSE (認知機能の評価)
- ⑤ InBody (筋肉量の測定)



■ 集団リハビリ

- ・ 大学病院監修の体操やパーキンソン病に必要な動き・要素を取り入れた運動中心のメニューを実施
- ・ ゲーム感覚で行え、医学的にも症状改善の効果が検証済





会社概要 2 / 神経内科専門の医師による訪問診療

■ 脳神経内科病院と連携し、専門の医師が訪問診療を行う事で入居後も専門的治療を継続できる体制を整備



■ 札幌エリア

脳神経内科医 有吉 直充 札幌記念病院

■ 関東エリア

脳神経内科医 杉山 雄亮 プライムクリニック
脳神経内科医 荻野 裕 豊田内科クリニック
脳神経内科医 富樫 尚彦 優心クリニック
脳神経内科医 江浦 寛子 あだち在宅診療所

■ 北陸エリア

脳神経内科医 濱口 歩 金沢はっぴいクリニック
脳神経内科医 疋島 貞雄 金沢大学付属病院
脳神経内科医 柴田 修太郎 金沢大学付属病院

■ 関西エリア

脳神経内科医 松本 禎之 脳神経ホームクリニック
脳神経内科医 宮本 将和 北野病院
脳神経内科医 柏谷 嘉宏 富永病院

■ 福岡エリア

脳神経内科医 坪井 義夫 つつみクリニック
脳神経内科医 魚住 武則 中間メディカル

* 全国で100名以上の脳神経内科医と連携



会社概要 3 / 24時間体制の訪問看護・服薬管理

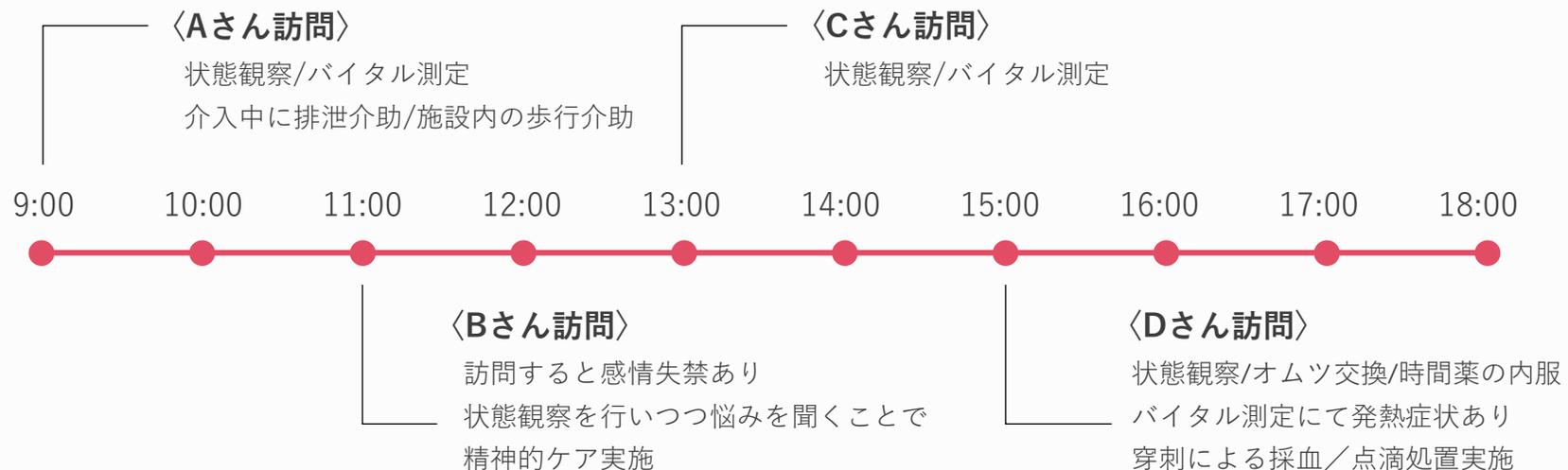
■ 看護師が24時間365日対応することで、細かな症状の変化や副作用の状況も適切に把握し服薬管理が可能。重度になっても「急変時や看取りにも対応出来る体制」を整備。

■ 主な業務内容

- ・ 入居者様の健康管理
- ・ 主治医・薬剤師と連携した内服管理
- ・ 喀痰吸引・胃ろう・在宅酸素管理
- ・ リハビリサポート業務



【日中の対応例】





会社概要 大学病院・専門病院との共同研究

■ 全国のパーキンソン病研究のトップドクターと研究を進め、より効果的な新サービスの創造を目指す

運営顧問

京都大学 高橋 良輔 特任教授

パーキンソン病の分子メカニズム解明とそれに基づく治療法開発を行う専門医。

- ①パーキンソン病に関連する研究会の運営指導・監修

共同研究

関西医科大学 高橋 牧郎 教授

パーキンソン病に関する研究会・講演会を多数開催。関西を代表するパーキンソン病専門医。

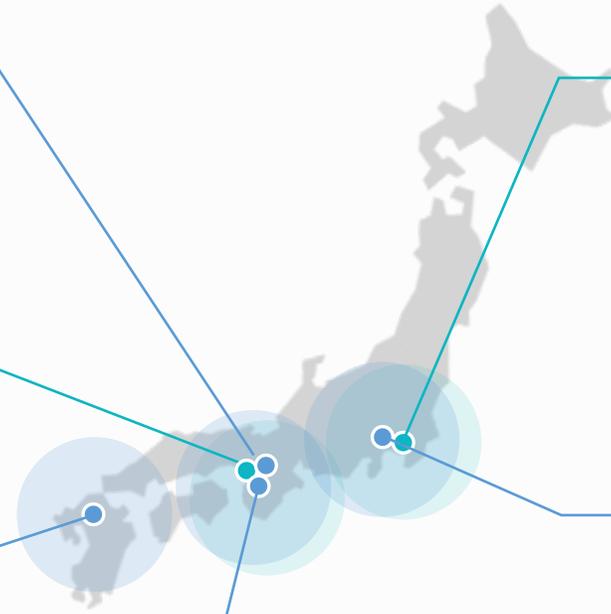
- ①e-sportプログラムを用いた効果検証
- ②PD専門人材育成のための教育システム構築に関する研究

運営顧問・共同研究

元福岡大学 つつみクリニック福岡 坪井 義夫 教授

福岡県を中心に約600人名の患者をフォロー。トータルケアによって病の進行を食い止める研究を進めている。福岡県パーキンソン病友の会顧問。

- ①症例カンファレンス
- ②多職種連携（PDハウスケアモデル）の検証
- ③PDダンスの効果検証



共同研究

(株)ALAN（慶応大学医学部発ベンチャー企業）

代表取締役 近藤 崇弘 医師

- ①運動機能評価システムの開発

運営顧問・共同研究

順天堂大学 服部 信孝 教授

パーキンソン病研究において、1996年～2006年の論文引用回数は世界第7位。世界的第一人者として高く評価される。全国パーキンソン病友の会顧問。

- ①3次元遠隔診療システムの検証
- ②ウェアラブル機器による活動検知の検証
- ③転倒検知、転倒減少への取り組み
- ④パーキンソン病関連オンラインセミナー開催

運営顧問・運営連携

脳神経ホームクリニック

松本 禎之 院長（元北野病院副院長）

- ①在宅医の神経内科医チームとの連携体制を構築



会社概要 専門サービスの開発

■ トップドクターとの共同研究を通じてパーキンソン病のケアにおける新たなサービスを開発中

ホログラム 遠隔診療システム



2021年に順天堂大学が世界初*リリースした3次元遠隔診療システム「ホロメディスン」の試験運用を実施

〈期待される効果〉

- ①全身観察が可能となり、より精度の高い診察が可能となる。
- ②通院および待ち時間における身体的苦痛の解消。

2022年7月1日より
順天堂大学と金沢のPDハウス
をつないで試験運用実施中

*2022年6月2日に記者会見によりリリース

転倒検知システム



転倒検知システム「ミライアイ」を用いた転倒の要因分析研究を共同実施中

〈期待される効果〉

- ①転倒パターン把握することで転倒を未然に防ぐ。
- ②転倒要因の分析による最適な環境調整の実施。

2022年9月16日より検証実施中

運動機能評価 システムの開発



AIを用いたシステムでパーキンソン病の進行状況を見える化

〈期待される効果〉

- ①定量的な情報共有で治療・ケア・リハビリの質が向上。
- ②進行状況の可視化により、リハビリやケアに対するモチベーションが向上。

2023年11月30日にシステムを開発し、
試験運用実施中



会社概要 海外の大学病院との連携

■ 2024年フロリダ大学病院と共同研究開始



2023年5月フロリダ大学病院視察

全米一のパーキンソン病治療実績を誇るフロリダ大学と、ビッグデータを活用したリハビリプログラムの共創、高齢者への専門ケアの必要性の実証を目的とした共同研究を開始。



サステナブル基本方針（ESG）

Environment

（環境）



環境に配慮したPDハウス

- ・自家消費型太陽光発電の導入
- ・GHG(温室効果ガス)排出量の算定
- ・クラウド活用によるペーパーレス化推進
- ・長期使用可能なステンレス製ゴミ箱の配置
- ・99%再生材ごみ袋使用によりCO₂排出削減に貢献

Social

（社会）



パーキンソン病患者の看護・介護のニーズに応えるPDハウス

- ・社会課題の解決を目的とするソーシャルローンによる資金調達を実施
- ・社内資格制度による介護従事者の知識・技術の高水準化・均一化、大学病院と定期勉強会実施
- ・健康経営優良法人認定制度への取り組み開始

Governance

（ガバナンス）



ガバナンス・リスクマネジメント・コンプライアンスの徹底

- ・取締役の半数を独立社外取締役としガバナンス強化を図る
- ・不正請求対策の構築（施設長、本社管理部門による二重チェック体制）
- ・施設・居室に見守りカメラ設置（不適切ケア牽制）
- ・金融商品取引法に基づいた監査法人による監査等、第三者評価機関による評価を実施



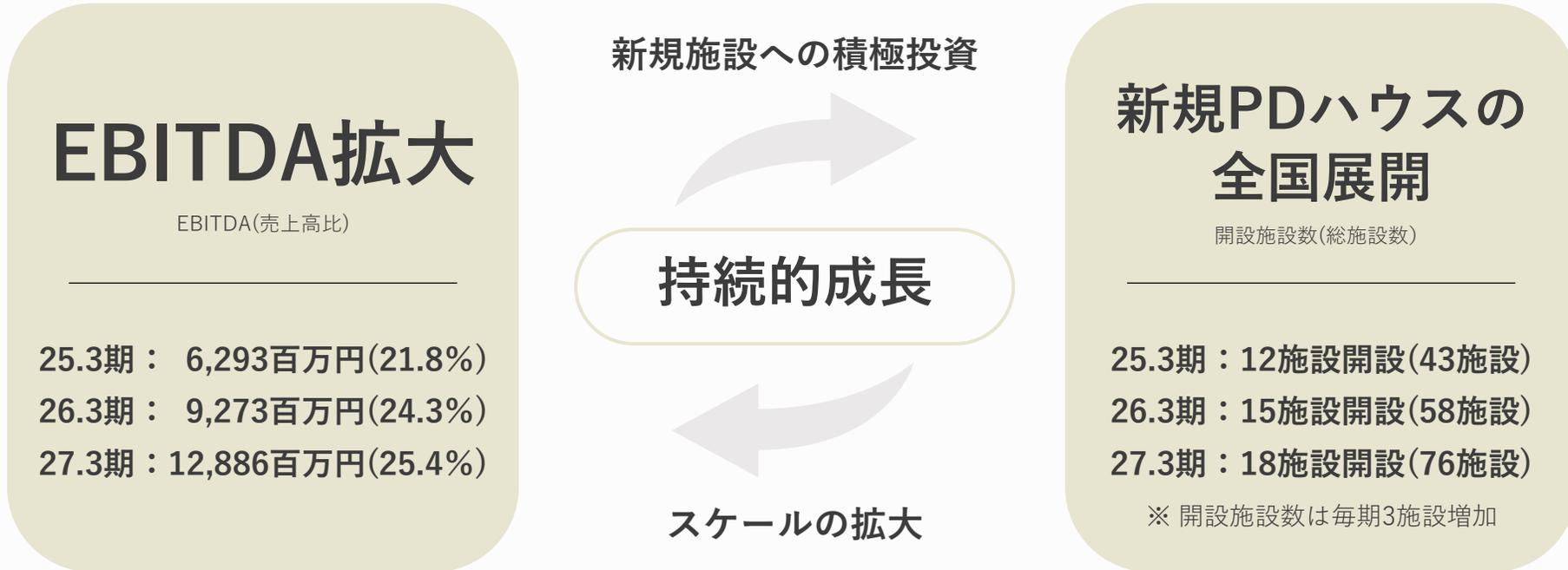
サステナブルな課題への取り組みを本格化

Environment
Social
Governance



持続的成長

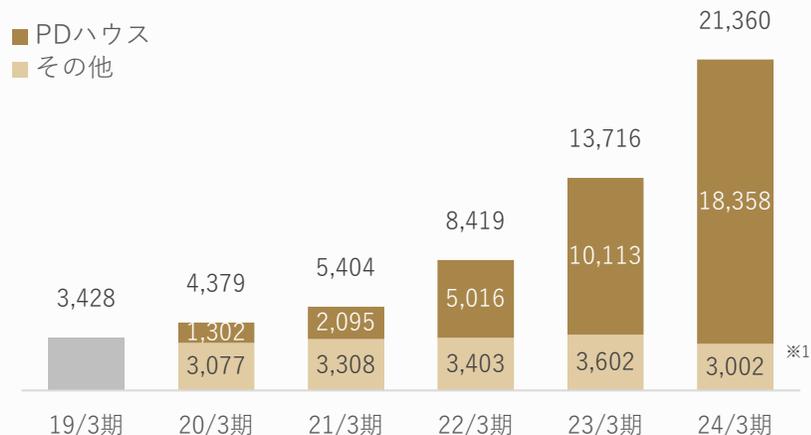
- PDハウスの新規開設を加速し、パーキンソン病患者への早期アプローチ
- 開設から収益化までの期間を最適化させ、継続的な投資を可能に





財務ハイライト

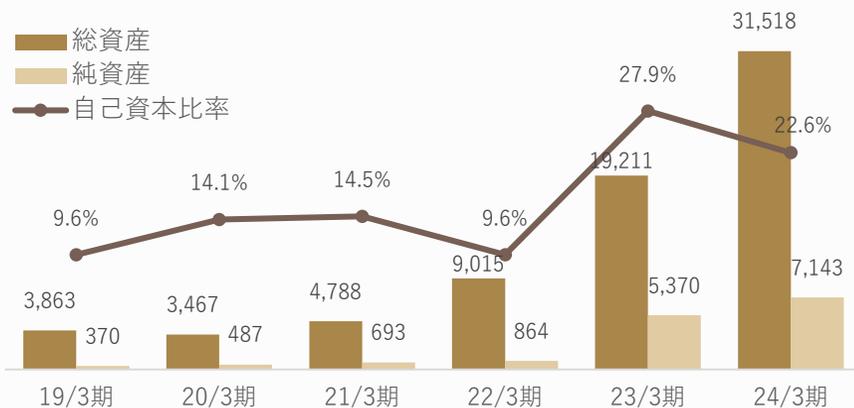
売上高 (百万円)



利益 (百万円)



総資産額・純資産額(百万円)・自己資本比率



EPS・DPS・BPS (円)



※1 2023年4月既存施設「太陽のプリズム藤江」、「太陽のプリズム戸板」のPDハウス化

※2 発行株式数は3月末時点の株式数で計算

※3 2021年3月25日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2022年2月15日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っているため、19/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たりの配当金の金額を記載



免責事項・お問い合わせ

本資料に記載されている当社に関する予想、計画等の将来に関する記述は、いずれも当社が現時点で把握している情報に基づく予想値です。これらは経済環境、規制緩和などの不正確な事象の影響を受けることで実現しない可能性があります。また、この資料に記載されている予想が計画等将来に関わる記述とは異なる場合があることをご了承ください。

株式会社サンウェルズ

<https://sunwels.jp/pdh/>

お問い合わせ

<https://sunwels.jp/pdh/contact/>